

キャラクター名 プレイヤー名

カツギ・リョウ (旧姓) グラン・フェルデン (新姓)

メインクラス	メイジ	Lv.1:		レベル	5
サポートクラス	セージ	Lv.1:	セージ	性別	女
称号クラス				年齢	51
種族	エルダナーン			境遇	没落
出自 (効果)	騎士			目標	人探し

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	9	9	10	19	8	15	7
ボーナス	3	3	3	6	2	5	2
クラス修正	0	0	0	2	2	1	1
他修正							
能力値	3	3	3	8	4	6	3

HP	44
MP	70
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	マジックスタッフ	至近	-1	2	0	0	0	0	0
左手									
頭部	メイジハット					2			
胴部	メイジローブ					3			
補助	サーコート					3			
装身具	グリモア								
能力値			3	0	3	0	6	7	8
スキル									
その他									
総計(右)			2	2					
総計(左)					3	8	6	7	8
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	4			4	+ 2 d
トラップ解除	3			3	+ 2 d
危険感知	4			4	+ 2 d
エネミー識別	8			8	+ 2 d
アイテム鑑定	8			8	+ 3 d
魔術判定	8		1	9	+ 4 d
呪歌判定	6			6	+ 2 d
錬金術判定	3			3	+ d

所持品	
冒険者セット	筆記用具
MPポーション(済)	仮面
MPポーション(済)	
MPポーション	
MPポーション	
MPポーション	
HPポーション	
HPポーション	
HPポーション	
毒消し	
毒消し	

現在重量: 17 所持金: 174 預金・借金:

最大重量: 18

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
マジックセンス	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: 作成時に知力基本値+3								
マジシャンズマイト	4	-	パッシヴ	-	自身	自動成功	5	
効果: 魔法攻撃ダメージ+[SLd]								
エアリアルスラッシュ(魔術)	1	6	メジャー	20m	単体	魔術判定	1	
効果: 風ダメージ[2D+5]と魔術判定+1D								
エアリアルセイバー	5	-	パッシヴ	-	自身	-	5	
効果: 魔法(風)のダメージ+[SL×4]								
エンサイクロペディア	1	-	セットアップ	-	自身	-	-	
効果: エネミー識別、not行動済み								
エフィシエント	2	-	パッシヴ	-	自身	-	5	
効果: 魔法/HPMP/ダメージ増減+[SL*2]								
マジックブラスト	1	4	マイナー	-	自身	自動成功	1	
効果: 対象を単体⇒範囲(選択)								
コンセントレイション	1	-	パッシヴ	-	自身	-	1	
効果: 魔術判定に+1D								
コンコーダンス	1	-	パッシヴ	-	自身	-	1	
効果: 全対象にエネミー識別								
アドバイス	1	-	判定の前	20m	単体	自動成功	5	
効果: 判定に+1D/1シナ[SL+1]								
モンスターロア	1	-	パッシヴ	-	自身	-	1	
効果: エネミー識別の判定に+1D								
エンラージリミット	1	-	パッシヴ	-	自身	-	1	
効果: 所持品の重量制限【筋力基本値】*2]								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

*シナリオ
 近頃この国で暗殺が多発している。
 必ず暗殺される前に予告状が届くのだがついに今回ついにこの国の王女に当てられた予告状が届く。
 本来ならば城に篋もり護衛を固めるべきだがあろう事か王女は城を抜け出し犯人を捕えようとする。
 王女は犯人を捕らえるために優秀な冒険者を探すことにした。
 アリアンロッド2E「王女に捧げるレクイエム」
 冒険の舞台が君を待つ!

*基本情報
 王女。
 いい年にもなって元気いっぱい。
 王の命令も聞かないことが多々ある。
 チャームポイントは腰に付けた仮面(ヴェネツィア・カーニバルのやつ)
 自身に暗殺の予告状が届いたことで、両親の事件に関与していた暗殺者集団と
 なんらかの関係があるかもしれないと思い、立ち上がることを決意する。

*生い立ち
 両親である王と妃とは血が繋がっていない。
 本当の父は王族の親衛隊長をやっていた。しかし、ある暗殺者集団に関係した事件がきっかけで両親は殺されてしまう。
 そんなときに子供に恵まれなかった王が私のことを養子として迎えてくれた。
 それが25歳のときである。
 それから20年以上、王女として私は育てられてきた。